

アームストロング砲〔復元〕が 武雄温泉駅に登場！

市が所蔵するアームストロング砲〔復元〕を駅構内に展示しています。この復元砲は、平成元年に武雄ロータリークラブ様から武雄市へ寄贈されたもので、幕末期の武雄領が、いち早く西洋の先進的な科学技術を導入し、積極的に近代化を進めたことを体感できる貴重な資料のひとつです。ぜひご覧ください。

場所 武雄温泉駅 新幹線・リレー特急改札口奥

※駅構内に展示しているため、入場券（おとな170円 こども80円）が必要です。



今年は「武雄鍋島家洋学関係資料」が国の重要文化財に指定されて10周年を迎えます。市では、武雄に残る貴重な資料や体験を通して歴史文化を活かした観光プログラムを計画しています。

表紙写真：御船山楽園の大藤

木々の緑が深くなり、爽やかな風が心地いい季節です。
緑豊かな自然の中で深呼吸をして、心身をリフレッシュしましょう。
また、ゴールデンウィークでは、家族や友人と旅行に出かけたり、レジャーを楽しんでみてはいかがでしょうか？

TAKEO

広報武雄 No.219 2024年5月号

CONTENTS

▶特集	いつもあなたのそばに 民生委員・児童委員	…04
ニュース	子育て支援・高齢者福祉のためにご寄附をいただきました 元村康誠さんが大相撲部屋に入門されました	…02
	武雄市新文化交流施設エリア 基本設計概要版完成	…11
	新規採用職員紹介	…13
	第42回 たけお音楽祭	…24
お知らせ	軽自動車税の納付をお忘れなく！ 手話奉仕員養成研修講座受講者募集	…17
	おたんじょうおめでとう	…30

発行・編集／ 武雄市役所 企画部 秘書広報課 ☎0954-23-9121
〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和12番地10
印刷／ 有限会社 四季の丘印刷

たけおポータル



Facebook



Instagram



市長だより

先月17日の23時過ぎ、緊急地震速報音が携帯から鳴り響きました。寝室で寝ていた私と妻は飛び起き、急いで子ども部屋へ。家族全員で息をひそめてじっとしていました。動揺していたのか、私はなぜか枕を脇にかかえていました。豊後水道沖で発生した震度6弱の大地震。武雄市は震度1でしたが、とても怖い思いをしました。

翌日、昨晚の行動が正しかったのか気になったので、県防災士会の溝上良雄会長に聞いてみました。「夜中に地震の起きたときは、布団をかぶって動かないのが一番です。子どもが気になるのは親として当然ですが、移動すると危ないので、小学生の高学年以上であれば地震のときにじっとすればいいからあらかじめ伝えておくのがよいです。」

布団をかぶるのは、上から物が落ちてきたときに身を守るため。先日市役所に来られた熊本市の大西市長は、熊本地震の経験から、自宅の寝室には物を一切置いていないそうです。

能登半島地震などを受け、地震を自分ごととしていたつもりでしたが、十分な備えができていなかったと今回反省しました。備えあれば憂いなし。大切な命を守るために、ぜひ家族で話し合ってください。いざというときの心構えや備えをよろしくお願いします。

武雄市長 小松 政